

# 2023年度 池上どろんこ保育園 事業報告書

## (保育所における自己評価)

### 1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

園目標として、『自分で考え、行動する子ども』、『気持ちの通じ合うこども』、『クラスの垣根を越えたチーム保育』の3つを掲げた。子どもがこれまでよりも主体的に生活や遊びを行っていくために、異年齢保育やチーム保育の改善と向上を図り、散歩先の選択制保育やプールや製作での習熟度別制保育の実践を行った。また、各行事は保育士が教え込む内容から日々の生活や遊びの中で培ってきたものを中心に構成するように転換していった。2024年度も継続して子どもの興味や関心に応じた保育計画作成と実践を行うべく、各年齢の子どもの理解を深め、クラスに捕らわれないすべての子どもを見ていく姿勢をとるよう努める。

課題として、昨年度から引き続き地域に根差した子育て拠点になるべく、保育園にいかにより多くの方の来訪を増やせるか、広報活動を通して、イベントや保育園見学を周知していく。

#### 〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもを見る目を養う
	実践結果	日々の生活や遊びの中での子どもの興味や関心を職員同士で共有し、室内外での活動の計画や個人に合わせた援助を行っていった。また、日頃の活動の中から行事を組み立てていき、子どもが安心して取り組める内容としていった。
	次年度方向性	今後も各年齢の発達を学び、より異年齢での保育を誰でも行える体制を整え、個々に合わせた援助をできるようにしていく。
2	計画・ねらい	子ども同士で話し合い、子どもが自身で活動を選択できる保育
	実践結果	子ども自身で生活を作り出し過ごしていくべく、5歳児同士で話し合う機会を創出し、必要な決まり事を決めていくようにした。また、選択制散歩を取り入れ、子どもが行先を決めたり、選んだりしていくようにした。また、乳児も保育士とのやり取りを楽しみながら、行先を選択できるようにしていった。
	次年度方向性	5歳児同士の話し合いの機会を増やし、より園の中心となることができるように職員が立ち回りを考えていく。また、他の年齢でも同じクラスや少人数での話し合いを職員がファシリテートしながらできるようにしていく。
3	計画・ねらい	保育士・栄養士・用務など、全スタッフで充実したチーム保育を行う
	実践結果	各月各週で行われる会議を他のクラスの職員と相談しながら日程調整を行い、その会議の中で子どもの姿を離しながら保育計画の作成にあたることのできた。また、少ない機会ではあるが、用務の散歩同行や栄養士が午後

		の活動を一緒に過ごすことが増えた。子ども一人ひとりの育ちを多角的に見ることができた。
	次年度方向性	次年度は栄養士の散歩同行や異年齢での散歩の機会を増やしていく。保育園を一つの大きな家として、誰もがすべての子どもの育ちを援助できるように学び愛の機会を作っていく。

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	日頃から保護者とのコミュニケーションを通じ信頼関係を築き、相談・助言を求めやすい、開かれた園づくりを行っていく
	実践結果	登園時や降園時に丁寧に会話を重ねていった。今年度は子どもの姿を説明できない事案もあり、後日個別に時間を取り説明したことがあった。
	次年度方向性	
2	計画・ねらい	園生活、子ども理解を深めていただくために保育内容の可視化
	実践結果	ポートフォリオやドキュメンテーションを活用し、保育園生活の中でどのような体験や成長をしているか、日々のお迎え対応で伝えきれない内容を書き掲示を行った。足を止めてみてくれる様子や、園のブログを見て地域の方が見学に来た。
	次年度方向性	保護者や地域の方に保育の専門性が伝わる工夫を各々考え、職員は園内研修やその他研修の中でも学んでいく必要がある。保育の重要性を伝えられるようにしていく。
3	計画・ねらい	実際に園行事や保育参加をしていただくことで、園での実生活を体験して頂き、理解や関心を高めていく。
	実践結果	コロナ禍が明け、園行事や保育参加の参加数が昨年より増えた傾向にあった。また、行事の中での成長で見えにくい部分を見てもらえる様、内容を工夫したり、それを機に保育参加の誘いを増やしたりするようにした。
	次年度方向性	保護者からの口コミで園に来園される方も多いことを鑑み、より丁寧に保育を伝えて行く他、行事等関係なく保育参加を誘っていくようにする。「

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育により近隣の方に保育に対する興味、関心を持っていただく
	実践結果	どこからでも園の取り組みが目に入るような内容を考え、臨時の参加者を集客することができた。また、前年度と実施先を変更し参加者が増えた。
	次年度方向性	その場にいる地域の方の呼び込みは増えた一方、事前に知っていった参加した方は居なかった。宣伝をし、集客を行う。
2	計画・ねらい	園見学や園庭開放等、園に足を運んでいただく

	実践結果	勝手籠や園舎外のチラシを見ている地域の方に声を掛け、園内にご案内をした。一時預かり保育の問い合わせが前年より多かった。
	次年度方向性	行事を企画し、認知の母数を上げていく。
3	計画・ねらい	園の取り組みを地域に発信し、園や法人の活動の認知を広げる。
	実践結果	行事やイベントのチラシを園舎外に掲示し、地域の人が見やすいようにした。 ブログ等を法人の内外に発信した。
	次年度方向性	行事の数や宣伝の回数を増やし、地域の人が来園しやすい機会を創出するほか、丁寧な対応を意識しリピーターを増やすようにする。

#### 〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	園目標や個人の MBO 達成に向けて、取り組みを明確化していく
	実践結果	毎月の園会議等で目標に対する達成度を確認したり、個別面談で是正計画を考えたりしたが、継続して追っていくことが足りないことがあった。
	次年度方向性	目標や取り組みを毎月の初めに確認し、個々が目標を意識できるようにする。
2	計画・ねらい	基本方針に沿って、園内研修の中で様々なアクティビティを使用し、トライアル&エラーしながら保育を実行し検証をしていく
	実践結果	アクティビティを活用し、日頃の保育の中では気が付かないことや他のスタッフの考えに気が付けるようにした。生活や遊び、行事の中で新しいことに挑戦していた。
	次年度方向性	計画や実践をこなし、振り返りを重ねる中で、自身の保育のアイデンティティを見つけ、磨けるようにする。
3	計画・ねらい	法人内外の研修や交換研修を実施し、子ども理解、保育や保護者支援のスキルアップを図る。
	実践結果	法人内外の研修に参加し自園の保育のアップデートを重ねた。ただし、保育の物的環境面で達成できなかったことや保育中の安全性について見直しが必要なことが発見された。
	次年度方向性	研修参加は継続的に推奨、参加していく。環境面は積極的に変化を加え、それについて考え抜く習慣をつける。

#### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	畑の改良
	実践結果	コンポストの作成に励み、堆肥を作り、土づくりを行ったが、改良はされなかった。

	次年度方向性	継続して土の改良の知識を学び、実践していく。
2	計画・ねらい	ゴミの削減
	実践結果	コンポストの改良やバイキング制を取り入れ食べ残しの削減に努めたが、2022年度比で残渣が増加傾向となっていた。
	次年度方向性	調理の過程での残渣は減らせているので、どうしたら子どもが積極的に食事を摂ろうとするのか考え実践していく。
3	計画・ねらい	火・水・土に関わる体験強化
	実践結果	日頃の戸外活動の中で自然現象や自然の性質に触れたり、話題に出したりし、子どもが様々なことに興味を持てるようになっていった。
	次年度方向性	火、水、土を日常生活の中に取り入れ、恩恵を享受して生きていることを実感できる活動や行事を考えていく。

#### 〈6〉子どもの人権を尊重した関わり

1	計画・ねらい	丁寧な保育の基本を徹底する。
	実践結果	子どもの衛生教育、子どもの声を第一に聞く姿勢を持ち、子ども一人ひとりを細やかに見ていくよう努めた。
	次年度方向性	スタッフ一人ひとりが常に援助の中で温かく言葉掛けをし、信頼関係を構築し安心して生活できるようにする。
2	計画・ねらい	子どもの表現や言論の自由を守る
	実践結果	子どもだけで話し合いの時間を設け、必要に応じて保育士がファシリテーションした。子ども同士の話し合いが増えた。
	次年度方向性	子ども会議は主に年長児が行っていたが、他のクラスでも取り入れ、自身で生活を作り上げる達成感を感じられるようにしていく。
3	計画・ねらい	活動やドキュメンテーションを子ども達と振り返る
	実践結果	子どもたちが遊びを継続したのち、広げていけるようになった。その期待感をもって次の当園をできるようになっていった。
	次年度方向性	散歩の行き先の環境による継続性は持てたものの、保育士からのアクションによる遊びの展開が不十分であったので改善を行っていく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	0人	10人	12人	10人	15人	12人	59人
年度後半： 10~3月	0人	10人	12人	10人	15人	14人	61人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	3人	3人	31人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	4人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						

### 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉 スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	2人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	5人	補助	0人	調理	0人	事務	1人
	用務	1人						

### 3. 運営報告

#### 〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会
給食運営会議	月1回	運営マニュアルに則り、旬な課題を協議（SDGs、畑仕事、 保育士との連携も含む）
事故防止委員会	月1回	・1か月間のヒヤリハット、インシデントを分析 ・検証 特に検証しなければならない事例は時系列にてスタッ フの連携、役割分担のさらなる明確化を図る。 ・他園の事案を自園に活かし未然に事故の防ぎ方を周知する。 ・旬な項目（SDGs, プール遊び、感染症、下痢嘔吐など）
ケース会議	月1回	個別配慮児の状況及びスタッフの関わり方の確認、スタッ フの意識統一
クラス・週案会議	週1回	保育の計画と振り返り、園児の姿の共有

#### 〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	年4回	主任
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

### 〈3〉 係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	園内の安全管理や備品などの管理・衛生点検
安全対策係	避難訓練・環境安全整備
防火管理者	避難訓練の立案・実施・反省
食品衛生管理係	食材の衛生管理・在庫確認と管理
畑係	畑の管理・栽培計画
生き物係	園内の安全管理や備品などの管理・衛生点検

### 〈4〉 行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	<p>2023年度のどろんこ祭りはコロナ禍が明け、保護者の有志による集まり、どろんこサポーターズ主体の運営を行うことができた。また、近隣の系列園であるセブンなないろ保育園と合同開催を行った。</p> <p>当園とセブンなないろ保育園の保護者同士の交流等が、合同開催が初ということもあり少なかった。</p> <p>祭り当日の運営は滞りなく進行され、おおむね好評であった。また、地域の店等とのかかわりを持てたので継続して地域に認知されるよう努める。</p>

## 4. 保育支援

### 〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、通常通りの保育、行事、地域交流ができるようになっていった。</li> <li>・園行事も園内に捕らわれず、地域の公園に繰り出し実施することができた。</li> <li>・系列園との合同保育や発達支援施設と連携を取るなどの子どもや保育士の連携の範囲を広げた。</li> </ul>
保育参加	4～3月まで 合計16名 が参加済み (3月1日時点)

保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計14名 が参加済み (3月1日時点)
運営委員会	運営委員会を6月30日,11月17日に自園にて実施し、参加した保護者6名 詳細は議事録に記載

## 〈2〉計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	食べたいときに、食べたい場所で、食べただけ食べられるような環境を作り、食事の時間を楽しめるようにする
	実践結果	2歳児もバイキング配膳を実施し、自分で食べる量を決められるようにした。
	次年度方向性	乳児と幼児が同じ宅を囲んで食事が取り組めるようにしていく。
2	計画・ねらい	子どもと一緒に食に関わる活動を日々継続的に実行していく
	実践結果	畑への意識は高まり、日々畑活動を行うようになってきたが、収穫に至らなかった作物もあった 給食のレシピを公開し、自宅で園の食事を知ってもらえた。
	次年度方向性	畑の作物を食す喜びから、次の野菜の成長や畑仕事に意欲を持てるようにしていく。
3	計画・ねらい	保育士、栄養士は一体となり、専門性を活かして「食を営む力」を育むため計画と振り返りを行う。
	実践結果	給食運営会議を適切に行うことができないことがあった。 保育士の「職を営む力」への理解が足りていなかった。
	次年度方向性	定期的に勉強会を設定し、学びを用いて計画を作成していく。

## 〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月11日/11月28日に実施
歯科検診	6月13日に池上どろんこ保育園にて実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施

スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 12月5,6日に池上どろんこ保育園にて性教育を実施
流行した感染症	6月 手足口病、ヘルパンギーナ、RS ウィルス 12月 インフルエンザ A 型
発作・痙攣等の対応	計1名に対し、6月13日に救急車要請
エピペン使用できるスタッフの状況	・3月23日に池上どろんこ保育園にてキックオフ研修をスタッフ17名が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ17名のうち、17名が使用可能
AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	・3月23日に池上どろんこ保育園にてキックオフ研修をスタッフ17名が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ17名のうち、17名が使用可能
その他保健に関する取組	感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また、定期的に消毒を行っている。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（定期1回/3年）	業者による対象物の定期点検 2023年実施済み
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施

	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月7日、10月30日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月21日、11月28日 歯科健診 各年6回／6月13日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月14日、10月13日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

### 〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	「自分で考え、自分で行動する」「自ら行動する力を育てるとともに、他の子どもと試行錯誤しながら活動を展開する」を基本とし、室内外ともに子どもが自発的に関わる環境を設定する
	実践結果	・通年通して子どもの成長を興味関心に応じて、環境構成を構成すべく、スタッフ間での意見交換を繰り返してきた。 ・保育室内に運動遊具を常設した。
	次年度方向性	・それぞれの発達や興味や関心に応じて、環境構成、活動の提供が出来るようにしていく
2	計画・ねらい	異年齢での保育を十分に行える環境を設定する
	実践結果	2階と1階の交流が昨年度に続いて少なかった。 室内では交流を持ち、一体的に環境構成を行った。
	次年度方向性	選択制散歩を実施していく中で、1歳児クラスと混ざることを選択肢に入れる意識を持つようにする。
3	計画・ねらい	安全対策や衛生管理を全スタッフで徹底して行う
	実践結果	・感染予防のための、換気や玩具、施設内消毒の実施 ・園庭、室内安全点検 ・ハザードマップ作成 ・清掃実施
	次年度方向性	・日々の園庭、室内安全点検 ・清掃の徹底 ・適宜ハザードマップの更新

## 〈7〉 手作り遊具・家具安全点検結果

### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	棚	園庭	毎週月曜日	異常なし
2	梯子	定期利用室	毎週月曜日	異常なし
3	平均台	定期利用室	毎週月曜日	異常なし
4	配膳台	保育室	毎週月曜日	異常なし

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災計画の作成と届出</li> <li>・ 毎月一回の避難訓練、消火訓練の実施</li> <li>・ 災害管理マニュアル、災害フローチャートの整備、確認</li> <li>・ 災害用の備品の管理と点検</li> </ul>
2	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケガ、事故防止の為の危機管理マニュアルの設置と理解</li> <li>SIDSの防止策を徹底周知と定期的にロールプレーを行う</li> <li>・ 事故報告簿、インシデント</li> <li>・ ヒヤリハット報告書の検証</li> <li>・ 投薬方法、アレルギー食の提供方法の徹底</li> <li>・ 保育士の上級救命救急資格取得、エピペン講習</li> </ul>
3	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危機管理マニュアルの不審者対策に則り、不信者侵入訓練の実施</li> <li>・ カメラ付きインターホンでの防犯対策</li> </ul>
4	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光化学スモッグの知識の習得</li> <li>・ 光化学スモッグ注意報発令メールの配信システムへの登録</li> </ul>

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉 今年度の振り返り

今年度は2名の実習生の受け入れを行った。

実習生、スタッフ共に多くの学びがあり、相乗効果が得られることが実感したので、今後も積極的に受け入れていきたい。

### 〈2〉 実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
7月5日～6日	学校法人三幸学園東京こども専門学校	1人	観察実習

### 〈3〉中高生の受入

日程	学校名	人数
9月19~21日	大田区立馬込中学校	4人
10月11~13日	大田区立蓮沼中学校	3人
11月28~30日	大田区立大森第四中学校	5人

## 7. スタッフ研修

### 〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシ ー自己採点	14日 17名	12日 17名	9日 17名	14日 17名	10日 17名	8日 17名	13日 17名	10日 17名	8日 17名	12日 17名	26日 17名	25日 17名

### 〈2〉外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
6月	大田区	大田区保育実践力強化研修	1名	無

### 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	18日 1名	17日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	20日 1名	16日 1名	20日 1名	21日 1名
施設長勉強会	18日 1名	17日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	20日 1名	16日 1名	20日 1名	21日 1名
全社員研修	10月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											

### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

## 8. 地域交流

### 〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

毎週水曜日に商店街ツアーを実施し、今年度は様々な店で見学や買い物等を引き受けていただき、どのような職業や役割があるのかを直接見る事ができた。

また、老人介護施設の方々と直接的な交流を持てるようになり、制作や手遊びを楽しむことができた。

### 〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：佐伯山緑地にて
商店街ツアー	週1回 実施 主な行き先：花よし、郵便局、市野倉消防署、池上駅、市野倉交番、東急ストア、養源寺、東急バス営業所、藤野屋、丸二青果、池上図書館、ごまのお店いい友、オオゼキ等
世代間交流	月1回 NPO 法人はせさんずを訪問し交流
異年齢交流	11月17日に池上第二小学校にて授業訪問を実施
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉 実施

## 9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

### 〈1〉今年度の振り返り

小学校訪問も今年度から再開し、来年度は児童同士で交流のイベントも計画するようになった。

また、小学校教諭の保護者様と今年度も学校の様子や学習指導要領、小学校接続の話し合いを行った。

### 〈2〉具体的な連携

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
8月10日	池上どろんこ保育園	12名	学習指導要領に関し懇談	学習指導要領に関して懇談
11月7日	池上第二小学校	1名	学校公開	子ども交流
2月14日	幼児担任	1名	保・幼・小連絡協議会	就学前連絡会

2月16日	幼児担任	1名	保・幼・小連絡協議会	就学前連絡会
-------	------	----	------------	--------

## 10. 要支援児

### 〈1〉個別支援計画の作成・見直しの状況

今年度は2名の支援計画を作成。

発達支援センターとの連携を図り、保育の見学、子どもの観察、援助のレクチャーを受けることができた。

それを踏まえて計画の立案や見直しを図るようにした。

今後も継続して連携を行っていく。

### 〈2〉毎月のケース会議開催の状況

・4～3月に計12回開催 参加者：10名程度

月の最終週の金曜日の昼礼にて、ケース会議を実施。スタッフ間で情報共有、意見交換をすることで、子ども理解を深め、個々に応じた援助が出来るようにしてきた。今後も継続して行うことにより、更に適切な援助が出来るようにしていきたい。

### 〈3〉進級引継、および小学校への引継状況

5歳児組においては就学を見据えて全家庭の個人面談を実施。園での生活状況を伝えるとともに就学が円滑に行えるように援助してきた。2022年2月地域別に順次開催される、保・幼・小の連絡協議会に参加し、それぞれの小学校の担当教諭と、就学に必要な情報共有、引継ぎを行った。進級児においては、保護者様の要望に応じて面談を実施したが、進級後も生活の様式の変化なども鑑みて、随時、面談を実施していく準備があることを発信していきたい。

## 11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	30名	0名	0名	0名	6名	6名	0名	6名	8名	56名

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件相談実施済み
自然食堂 親子ランチ	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計0回実施済み 参加者延べ人数

交流	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎週（水）10:00～12:00 ⇒計0回実施済み 参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
勝手籠設置	（月）～（土）7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育 （支援セン ター主催）	月1回 公園名：佐伯山緑地にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名

## 12. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

評価会社名学研データサービスに依頼して受審済み

アンケート配布日：12月1日

アンケート回答率（スタッフ）…100%/アンケート回答率（保護者）…45%

経営者ヒアリング・施設長ヒアリング・園審査：3月11日に実施

（省察）学研データサービスを交えた省察は2024年3月25日実施予定

### 〈2〉園による自己評価の実施

2023年10月11日、2024年2月8日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：8時00分

自己評価終了時刻：17時00分

自己評価実施者：森谷太郎、田中誠

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：82%

（省察）利用者アンケートは法人全体でも高評価をいただいた。

ただし、年度が変わってから活動内容や方法に変化があり、その周知がされていないというご意見を比較的多くいただいた。また、行事の在り方や時代に合わせた取り組みを希望される声もあった。

昨年度同様、アンケート回収率が系列園と比べると低かった。

### 13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

#### 〈1〉報告すべきご意見

なし

#### 〈2〉報告すべきケガ（事故含む）

なし

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：池上どろんこ保育園 施設長 鈴木 隆